

第 4 回 日本ジオパーク委員会議事録

日時: 2008 年 12 月 8 日 (月) 13:30~16:40

場所: 経済産業省・別館 10 階 1014 号会議室

出席者: (敬称略)

委員長

尾池和夫 国際高等研究所フェロー(京都大学 前総長)

副委員長

町田 洋 日本第四紀学会(東京都立大学名誉教授)

委員 (五十音順)

伊藤和明 NPO 法人 防災情報機構 会長(元 NHK 解説員)

加藤碩一 産業技術総合研究所地質調査総合センター 代表

鹿野久男 (財)国立公園協会 理事長

瀬古一郎 (社)全国地質調査業協会連合会 会長

高木秀雄 日本地質学会(早稲田大学教授)

中川和之 日本地震学会(時事通信)

中田節也 日本火山学会(東京大学地震研究所教授)

オブザーバ

外務省広報文化交流部国際文化協力室 課長補佐

渡邊 博

外務省広報文化交流部国際文化協力室 事務官

濱田 幸

文部科学省国際統括官付 ユネスコ第3係長

日俣詠里子

文化庁文化財部記念物課 主任文化財調査官

桂 雄三

農林水産省農村振興局農村政策部農村環境課

菊池茂史

林野庁国有林野部経営企画課環境保護企画係長

本多 融

経済産業省知的基盤課 課長

渡邊重信

経済産業省知的基盤課 課長補佐

永田邦博

国土交通省観光庁観光地域振興部観光資源課

松岡 良

環境省自然環境局国立公園課

東岡礼治

事務局

産業技術総合研究所

佃 栄吉

産業技術総合研究所

脇田浩二

産業技術総合研究所

渡辺真人

産業技術総合研究所

牧野雅彦

産業技術総合研究所

吉川敏之

産業技術総合研究所

原 英俊

プレス 7 名

朝日新聞、共同通信、新日本海新聞、神戸新聞、北海道新聞、高知新聞、新潟日報

[はじめに]

事務局(脇田)から、委員会配付資料の確認を行った。

1. 委員長挨拶

日本ジオパーク認定の、これまでの作業プロセスを簡潔に振り返った。

[報告]

1. 第3回日本ジオパーク委員会議事録確認

「第3回日本ジオパーク委員会議事録(資料1)」について、意見があれば委員会中にあげていただくことになった。

委員会終了までに特段の意見はなく、承認された。

2. 日本ジオパーク候補地域の視察報告

第3回委員会以降に行われた現地視察について、参加した委員から報告が行われた。

1) アポイ岳(中田委員)

a. 概要

- ・ 地質学的に価値があるのに加え、植物、人間との歴史も堪能できる。
- ・ 看板がないこと、現地での説明が専門的なことが課題。
- ・ 株式会社東洋オリビンのカンラン岩採石場がある。かんらん岩の製品では、比重の大きさを実体験できる。
- ・ ビジターセンターがコアセンターとなっている。植物の説明が充実している
- ・ 海岸にかんらん岩が隆起した時の衝上断層露頭があるが、看板がない。
- ・ かんらん岩が魚礁にもなっているなど、人間と地質の関わりも見所のひとつ。
- ・ 役場の前に庭園(アポイの鼓動)があり、かんらん岩の断面をよく観察することが可能。
- ・ 現地での意見交換の中では、専門用語をどう簡単に解説するかが議論となった。

なお、今後の運営に関する補足資料が提出されており、事務局から紹介された。

b. 質疑

- ・ マントルが地表に現れるまでの複雑なプロセスを理解しないと、本当の価値が伝わらない。一般の人が全部理解することは困難かも知れないが、説明者が心得ていることは重要である。
- ・ 看板は2通り必要ではないか(平易な説明と専門家向けの説明)。
- ・ アポイなどでは生き物との関わりを説明することが大切。
- ・ わからないことをわからないということも大切で、謎は謎でおもしろい。
- ・ ガイドの解説する植物とジオとの関係の話は、まだ十分ではないという印象がある。

2) 南アルプス(中川委員)

a. 概要

- ・ 一般に看板はよく整備されている。一部、サイエンス的でないものもあった(中央構造線入口など)。
- ・ 住民から整備に着手し、行政が看板を設置した例もある。
- ・ 化石資料館のツアーで掘った化石は、宝物として資料館で保存されている。
- ・ 南アルプス林道は、夏の期間バスのみ運行している。バス運転手のジオ研修も予定されている。
- ・ 看板の整備が良いため、どの場所へ行っても理解はしやすい。

- ・ マイロナイトの採石場がある。看板には博物館が協力している。
- ・ 地元の方が熱意を持って取り組み、成果を上げている印象であった。

b. 質疑

- ・ 中央構造線のトータルな理解が薄い。線ではなくポイントという意識が強い。
- ・ 破碎地域なので雨でも地震でも崩れやすいが、来客に対して危険性の指摘するような説明板などはなかった。
- ・ 世界遺産も申請準備しているが、ジオパークは直接リンクしない。
- ・ 麓である(観光の起点である)駅の近くにも、ジオパークの説明は欲しい。

3. 世界ジオパークネットワークへの申請書準備状況と申請後の審査の過程

事務局から、世界ジオパークネットワークへの申請を認められた 3 地域(洞爺湖有珠山、糸魚川、島原半島)の申請書の準備状況が報告された。申請の手順と時期についても説明された。また、委員会が準備する資料(日本ユネスコ国内委員会への連絡文書・推薦書)の文案が紹介された。推薦書には、雲仙の溶岩ドームと、有珠山 2000 年噴火で負傷者がなかったことを追記すべきとの意見が出された。世界ジオパークネットワークの現地審査の旅費は、規定があって現地が負担することになっている。

[休憩] (2:45~3:00)

休憩の間に、プレス関係者は退席となった。

[審議]

1. 日本ジオパーク候補地域の選定審査

冒頭、尾池委員長から提案があり、世界ジオパークネットワークへの申請を認められた 3 地域、世界ジオパークネットワークへの申請認定から外れた 2 地域、日本ジオパーク申請 2 地域の 3 通りに分けて審議を進めることになった。

1) 世界ジオパークネットワークへの申請を認められた 3 地域

世界ジオパークネットワークへの申請を認められた 3 地域に関しては、日本ジオパークにも認定するという委員長の提案に対し、異論は出されなかった。日本ジオパークが発展する上で、リーダーシップを発揮してもらう意味も大きい。洞爺湖有珠山・島原半島については、日本の特徴である「変動するジオ」の代表としても必要である。

2) 世界ジオパークネットワークへの申請認定から外れた 2 地域

世界ジオパークネットワークへの申請認定から外れた 2 地域については、まず第 3 回の委員会以降に提出された修正版の申請書のこと紹介され、事務局から修正の要点が説明された。山陰海岸の修正版は、ジオサイトをわかりやすく記述しており、格段に良くなったと評価する意見があった。学術顧問を活性化する方針であることも評価された。一方で、組織・運営体制の改善点が必ずしもよく見えないという意見もあった。室戸に関しては、名称から四国をはずして、まとまりがわかりやすくなった。核となる博物館がないが、ジオパークの拠点と南海地震に備える防災施設をリンクさせて整備すること考えると良いという意見があった。なお、四国全体という観点では、各地のジオパーク立ち上げに向けた調査が進行しているらしいとの状況が複数報告された。

山陰海岸・室戸については、日本ジオパークに認めることで意見がまとまった。ただし、委員会として改善要望を後日提出することになった。また、今回の審査はあくまでも日本ジオパークとしての適性をみたもので、世界ジオパークネットワークへの申請には更に課題もある(英

語の説明・表記など)ことが指摘された。

3) 日本ジオパーク申請 2 地域

日本ジオパーク申請 2 地域のうち、アポイ岳に関しては認定することに対する強い異論は出なかった。南アルプスに関しては、名称について議論が交わされた。南アルプスという広い地域名をつけるには、ジオパークのエリアは限定的で、むしろ中央構造線の方が中心になっている。その意味では「中央構造線南アルプスエリア」の方が良いという意見もあった。地元としては、登山にジオの要素を入れたい、見所は中央構造線に限らないという意向があり、また世界遺産を目指して南アルプス全体で議論してきた経緯もある。委員会がこういう名称にしなさいとは言いにくい一方で、委員会がすべて保証することはできない。今回は申請内容を認めたということにして、名称については再検討を注文することになった。

この後、記者レク資料の文章についても検討を行った。

2. 2009 年の募集・選定スケジュール

事務局案が紹介されたが、日程への具体的な変更の要望や意見は出されなかった。ただし、来年の募集の前に、日本ジオパークの基準を明文化することを考えたいとの要望が出され、事務局で原案を作ることになった。

[その他]

1. 日本ジオパーク記念式典について

日本ジオパーク記念式典を 2 月 20 日(金)に行うために準備中で、東大・小柴ホールを予約したことが報告された。特に異論はなく、原案のように進めることで承認された。来賓を誰にするかについてはいくつか意見が出されたが、具体的な名前は挙がらなかった。また、ポスターセッション用に作成する原稿を、日本ジオパークの紹介資料として配布してはどうかとの意見も出された。

2. 次回以降の予定確認

日本ジオパークの基準についてはメーリングリストを通じて意見をまとめるが、場合によっては基準の審議のために委員会を開くことも検討すべきとの意見が出された。

3. その他

特になし。

以上

[配布資料]

- 資料 1 第 3 回日本ジオパーク委員会議事録(案)
- 資料 2 アポイ岳・南アルプス現地視察報告
- 資料 3 世界ジオパークネットワークに提出する書類
- 資料 4 日本ユネスコ国内委員会への連絡文書
- 資料 5 世界ジオパークネットワークの審査の過程
- 資料 6 2009 年の募集・選定スケジュール(案)
- 資料 7 日本ジオパーク記念式典(案)